

入札執行結果

| | | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 年度 | 平成26(2014)年度 | 業務番号 | 随0009 |
| 業務名称 | 新基幹系情報システム構築及び番号制度対応のための AIST 包括 FW 札幌市版の拡充と全体ガラスボックス化の維持・管理及びシステム基盤の拡充開発・展開業務 | | |
| 入札方式 | 随意契約(ソフトウェア利用許諾契約事業の契約規則第 4 条第 3 項第 2 号の規定による) | | |

| | |
|-----------|------------------------------------------|
| 契約者名 | ピースミール・テクノロジー株式会社 |
| 契約金額(税込み) | 285,120,000円(うち消費税及び地方消費税の額 21,120,000円) |
| 契約日 | 平成26(2014)年4月1日 |

随意契約理由

本業務は AIST 包括 FW 札幌市版を多用するとともに改修、拡充することから、業務を履行するものは、AIST 包括 FW を使用する権利(実施権)を得ている必要がある。

当該業者は「AIST 包括 FW の保守サービス並びに AIST 包括 FW を用いた情報システム開発の各種支援」を行うことを目的として、産総研が「独立行政法人産業技術総合研究所ベンチャー技術移転促進措置実施規定」により「産総研技術移転ベンチャー」として認定し、AIST 包括 FW を使用する権利を認めている唯一の業者であり、上記に掲げた業務履行上の要件※1を全て満たしていると判断されるため。

※1 次ページ参照

「新基幹系情報システム構築及び番号制度対応のための AIST 包括 FW 札幌市版の拡充と全体ガラスボックス化の維持・管理及びシステム基盤の拡充開発・展開業務」における、業務履行上の要件について

本業務は、平成 26 年 4 月から平成 26 年 9 月末までの期間において、AIST 包括 FW 札幌市版に準拠したプロジェクト推進とプロジェクト間調整、各プロジェクトにおける成果物の品質管理、AIST 包括 FW 札幌市版のメンテナンスを行い、システム基盤の構築を行うものである。

本業務の履行にあたっては、以下の要件を満たす事が求められる。

- ① 調達範囲・調達内容の分割や統合を判断するにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版の技術的な特徴や、その利用による影響・効果を予測した助言ができること。
- ② 開発規模が段階的に拡大していく本事業のプロジェクト計画をメンテナンスしていくにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版を利用した工程の進み方、変更の影響を予測したプロジェクト計画の立案ができること。
- ③ 事業全体の進行状況を踏まえたプロジェクト間の調整を行うにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版を利用した工程の実施・成果物の特徴を踏まえ、プロジェクト間調整の影響度合いを予測しながら調整ができること。
- ④ 要員責務の動的な調整を行うにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版に定義された要員のロールとその専門的な観点に基づく要員スキルの判断ができること。
- ⑤ 開発仕様を共通化するにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版のプロセス定義や成果物定義、その特徴を踏まえ、仕様の抜け漏れを効果的に発見・校正することができること。
- ⑥ 統一して採用されるアーキテクチャについて、AIST 包括 FW 札幌市版との整合性が担保されつつ構築・維持を行い、必要に応じて AIST 包括 FW 札幌市版の拡張を適切に行うことができること。
- ⑦ 多数の個別プロジェクトが AIST 包括 FW 札幌市版で定義しているプロセス及び成果物規定に準拠しているかどうかを統括管理するために、AIST 包括 FW 札幌市版に関する設計・開発のノウハウに精通し、プロセス適用及び成果物規定で注意すべき点や作業を共有し、作業のパターン化を促進できること。
- ⑧ 個別プロジェクトの状況に即応した AIST 包括 FW 札幌市版全体の改修・拡充と全体構成における整合性の維持・管理を行うにあたり、AIST 包括 FW 札幌市版に関する設計・開発のノウハウに精通し、事前に変更部分に関する波及の効果や副作用の想定ができること。